

仙台市水道事業中期経営計画（令和7年度～令和11年度）（中間案）

参考資料（用語解説）

この資料は、仙台市水道事業中期経営計画（令和7年度～令和11年度）（中間案）をご覧いただく際の参考として、仙台市水道事業基本計画（令和2年度～令和11年度）及び仙台市水道事業中期経営計画（令和2年度～令和6年度）においても使用している主な用語を解説したものです。

あ行

【アセットマネジメント】

資産の状況を的確に把握し、中長期的な予測を行うとともに、最適な補修や更新により施設を効率的に管理運営していくための手法。

【おふろ部】

産学官連携により、健康・癒し・美容等、お風呂の魅力や効能等について、SNSでの情報発信や各種イベントでのPRを行うことで、お客さまに水の持つ様々な魅力を再認識していただき、水道水の有効利用を促す取組。

か行

【元利償還金】

企業債（地方公営企業が国等から借り入れる借金）の発行に伴う、元金と利息の返済のこと。

【給水装置】

お客さまが水道水の供給を受けるために、水道事業者が布設した配水管から分岐して設けた給水管及びこれに直接つながっている蛇口等の給水用具。

【減価償却費】

長期間にわたり使用する固定資産の取得に要した支出を、法定耐用年数に応じて事業年度ごとに配分する費用のこと。

さ行

【小水力発電】

水の流量と落差によるエネルギーを電力に変換する小規模な水力発電。

【水道サポーター】

本市水道事業への理解を講座や施設見学等を通して深めていただき、ご意見を事業運営に反映させるため、水道事業に関心を持つお客さまを水道サポーターとして委嘱している。

【仙台市水道サービス公社】

上下水道の適正かつ円滑な利用の促進と適切な維持管理を行うために必要な事業を行い、上下水道事業の健全な運営と公衆衛生の向上に寄与することを目的とした公益財団法人で本市の外郭団体。本市の給水装置関連業務等を受託している。

た行

【地方公営企業】

地方公共団体の経営する企業。仙台市では水道事業のほかに、自動車運送事業、ガス事業等がある。経営の基本原則は常に企業の経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するように運営することで、運営に要する経費は原則としてサービスの対価である料金収入を充てることとなっている。

な行

【ナレッジバンク】

職員の知識やノウハウをテキスト・図解・写真・動画等で保存し、データベース化して共有する仕組み。

英字

【AI】

Artificial Intelligence（人工知能）の略で、人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステムのこと。

【ICT】

情報（Information）や通信（Communication）に係る技術（Technology）の総称であり、従来の「IT」に比べて、ネットワークを利用した多様なコミュニケーションの重要性を強調した概念のこと。

【SNS】

Social Networking Serviceの略で、個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援するインターネットを利用したサービスのこと。

仙台市水道事業基本計画（令和2年度～令和11年度）及び仙台市水道事業中期経営計画（令和2年度～令和6年度）の詳細については、水道局ホームページからご覧いただけます。



水道局ホームページは
こちら